

世界連邦日本国会委員会設立経緯

1945年12月 尾崎行雄氏、「世界連邦建設に関する決議案」を提出

1948年8月6日 世界連邦建設同盟（現在の世界連邦運動協会）設立

1948年8月9日 英国議会の中に設立された「世界連邦委員会」のリミトン議長より、賀川豊彦氏に対し、日本の国会内にも世界連邦組織をつくる要請

1949年12月20日、松岡駒吉衆議院議長を会長、田中耕太郎参議院会長を副会長、吉田茂総理・「憲政の父」尾崎行雄氏、賀川豊彦氏などを顧問に創立

昭和十四年十二月二十日
於衆議院第...委員会

世界連邦日本国会委員会 創設宣言

人類社会の隆進動進は交通・通信の隆進、人間相互の連絡の強化、道徳意識の向上等
により、漸次社会生活の範圍を拡大、家族、地方團體、民族、国家等の大小社会を包攝し、
国家の存続の越え、人類社会の政治機構、経済交流の隆進をめざして進んでいる。

従つて、國際社会が國際建設から國際連合に進化したことは、過去の國際社会を支配して
きた下つた状態を克服して、世界平和を實現する諸國が協力した結果である。

しかしながら、このような國際社会は、国家主権の原理に立脚し、その構成員たる民族
國家が自己の主権を固執する場合には、國家社会の基礎は薄弱である。世界の平
恒と平和の保障たるには不十分なるものがある。われわれは、國際連合を一層完備
なる國際組織体にして發展させるべきである。

これには、各國家の行政区畫をそのまま認めながら、全世界の國家之人を包攝す
る世界連邦の云々による人類統合の世界組織体に改編するべきである。

このような世界連邦組織の提議は、特に經濟機構のめざましい隆進と原子力の開發
による原子爆の出現による人類の社会生活が變化した今日、切迫したものである。

故に、われわれは、この世界平和を希求する英同体として、世界憲法の下に世界政府を創設

するべく、各國の同胞が結合することにより、世に於て世界恒久の平和を實現し、法の正義と
秩序を確立するべく、公正なる行政機構を樹立し、個人の基本的人権をもち、社会
生活における自由性平等性が健全に保障されることを確信する。

今全世界の文明國に於ては、識者の間では國際連合及びその不入運動と共に
世界連邦の構想が振動し、このもの運動は日甚しき具體化後進している。

われ日本に於ては、新しい憲法による、戰爭を放棄し、恒久平和の理想達成に
全力を挙げた努力することを誓ったわれわれにとって、世界連邦實現の世界平和
運動に熱意をもつて参加協力することは、崇高なる道義的義務といふべきである。
このため、われわれは、世界連邦日本国会委員会の發足に当たり、全力を挙
げ、所期の目的に邁進せんことを宣言するものとする。

以上

◎衆議院議員	松岡駒吉	北村徳太郎	山崎猛	三木武夫	船山享三	鈴木武夫	水登登郎	
	笹森順造	岡田象一	中山三才	森尾康	深澤徳亮	今村忠助	山本秀吉	
	戸叶里子	福田昌子	山口シエ	松本七郎	水谷昇	西村隆一	千葉信太郎	
◎参議院議員	田中耕太郎	橋本辰郎	徳川宗敬	徳川頼貞	西田天香	高田實	青尾豊	
	星一	木内キヨシ	尾形謙翁	井上元	高良之丞	梅尾幹男	尾崎行輝	柏木幸徳
	赤松常子	帆足謙	木下辰雄	下谷隆彦	藤川七工	草場隆田	藤井西年	若原月海
	野田俊作	小杉ハ子	大少女	以上出席委員で、名簿委員十四名の懸賞派議員。				

◎参議院議員、会長兼議長松岡駒吉、副議長橋本辰郎、参議院議長兼議長船山享三、尾崎行輝、若原月海

世界連邦日本国会委員会について

一、 創立

1949年12月20日、松岡駒吉衆議院議長を会長、田中耕太郎参議院会長の副会長、吉田茂総理・「憲政の父」尾崎行雄氏、賀川豊彦氏などを顧問に創立

二、 会の目的

環境保護・平和・世界の絶対的貧困対策など、国家を超えた課題に対応するため、国連をはじめとする国際機関を改革・強化し、国家を超えたシステムを整備して取り組むことを目指して活動している。

三、 成果

- ① 2005年衆議院・2016年参議院において、政府が**世界連邦実現への道**を探求すべきとの文言を明記した**決議を国会本会議**において達成。
- ② 2007年10月、戦争犯罪・人道に対する罪などを裁く ICC 国際刑事裁判所ローマ規程に日本が加入するにあたって中心的に活動。
- ③ 国際連帯税の理念普及と実現に向けて尽力、検討を行うことが法律に明記された。

四、 主な活動

- ① 関連する NGO と連携しながら、グローバルな課題に取り組む。
- ② イスラエルとパレスチナから紛争で肉親を失った遺児を招き日本の市民と交流する「中東国際交流プロジェクト」に協力。
- ③ 世界連邦全国小中学生ポスター作文コンクールに協力。同コンクールは文部科学省の後援を受け、文部科学大臣賞も授与している。
- ④ 政府に政策提言。ICC 加入のように実現した政策もある。
- ⑤ 国際問題・平和・環境に関するテーマの研修会・セミナーなど開催。
- ⑥ 年1度、世界連邦関係数団体（後述）により世界連邦日本大会を主催。例年、外務省・文部科学省から後援。

五、 国内の関係諸団体

次の各団体等と協力して活動している。

1. 世界連邦運動協会・・・民間の立場から活動 全国に約50の支部。
元内閣総理大臣の海部俊樹氏が会長。
2. 世界連邦宣言自治体全国協議会…世界連邦都市宣言を行った自治体による組織。
現京都府綾部市長の山崎善也氏が会長。
3. 世界連邦日本宗教委員会・・・各宗教が宗派の違いを超えて活動。
石清水八幡宮・宮司の田中恒清氏が会長。
4. 世界連邦文化教育推進協議会・・・文化・教育の面から世界連邦理念の普及を図る。
東久邇信彦氏が会長。

六、 World Federalist Movement

世界の27の国と地域における世界連邦推進団体（当会も含む）により、World Federalist Movement が組織されている。同会は**国連の経済社会理事会との協議資格**を有している。